

令和6年度 第1回 霧島市ふるさと創生有識者会議

日時:令和6年10月29日(火) 14:00-

場所:霧島市役所行政庁舎本館701・702会議室

国の地方創生の経緯と取組

- 平成25年

日本の人口は2008(平成20)年の1億2,808万人をピークに既に減少段階に入ったとされ、高齢化や人口減少が進む中で地方の活性化は一層困難度が増していくことの懸念。人口減少と地方の衰退の問題に一体的な取組が始まる。

- 平成26年

まち・ひと・しごと創生法制定

少子高齢化の進展に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたり活力ある日本社会を維持していく

まち・ひと・しごと総合戦略の策定

施策に関する基本的方向、その他施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な事項を定める

市町村は、総合戦略を勘案し、平成27年度末までの地方版総合戦略作成を、努力義務として定める

国の地方創生の経緯と取組

- 平成27年(地方創生元年)～
地方版総合戦略に応じた地方創生推進交付金の配布等による施策の実施
- 令和3年～
デジタル田園都市国家構想(デジ田)公表、デジタル田園都市国家構想交付金創設
- 令和5年～
デジタル田園都市国家構想総合戦略(令和4年)改訂

霧島市ふるさと創生総合戦略の取組

- まち・ひと・しごと創生法に基づき、まちの地方創生に関する目標や施策の方向性を定めるもの。
- 人口減少や少子高齢化、地域経済の規模縮小などの課題克服に向け、総合計画の政策分野の枠組みを超えて重点的に取り組む。

平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
			第二次霧島市総合計画 基本構想(2018年度～2027年度:10年間)										
			前期基本計画 (2018年度～2022年度:5年間)					後期基本計画 (2023年度～2027年度:5年間)					
								↑	統合し一体的に策定				
霧島市ふるさと創生総合戦略 (2015年度～2019年度:5年間)					第2期霧島市ふるさと創生 総合戦略 (2020年度～2022年度:3年間)			第3期霧島市ふるさと創生総合戦略 (2023年度～2027年度:5年間)					

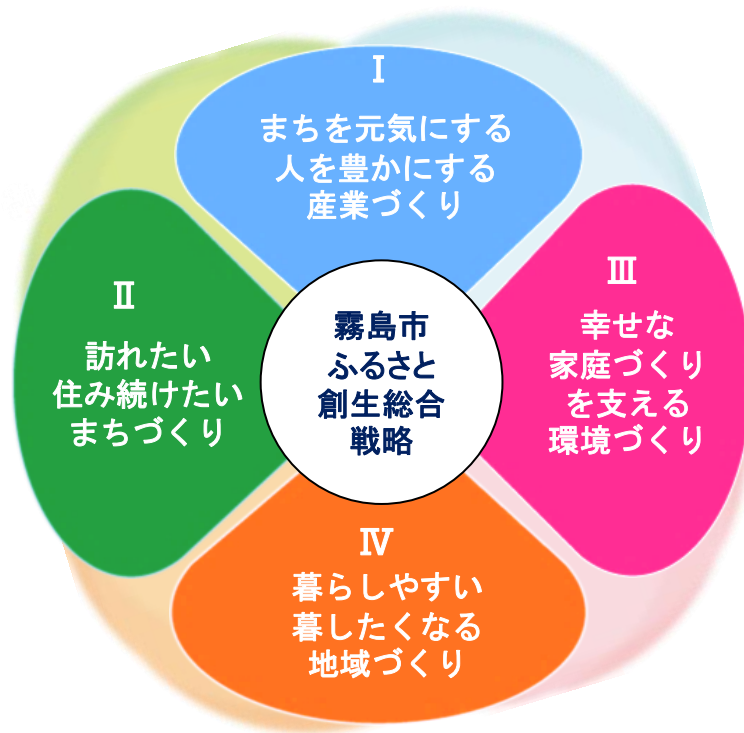
- 霧島市ふるさと創生有識者会議開催
(平成28年から毎年開催 計15回。地方創生推進交付金事業や戦略の効果検証、戦略や人口ビジョン改訂への必要な助言、提案等)

総合戦略(第1期・第2期)

霧島市ふるさと創生総合戦略

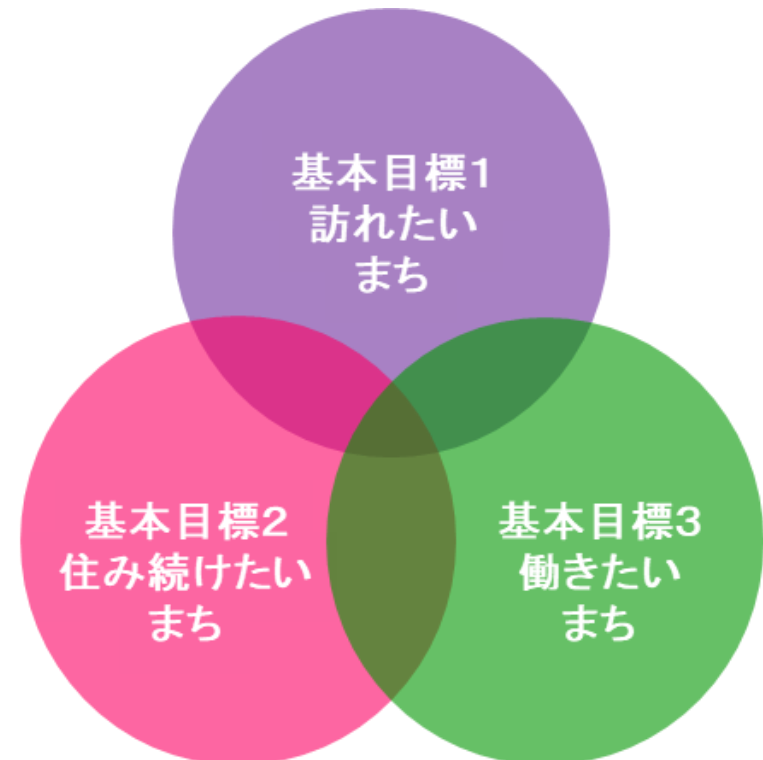
第1期

期間:平成27年度～令和元年度



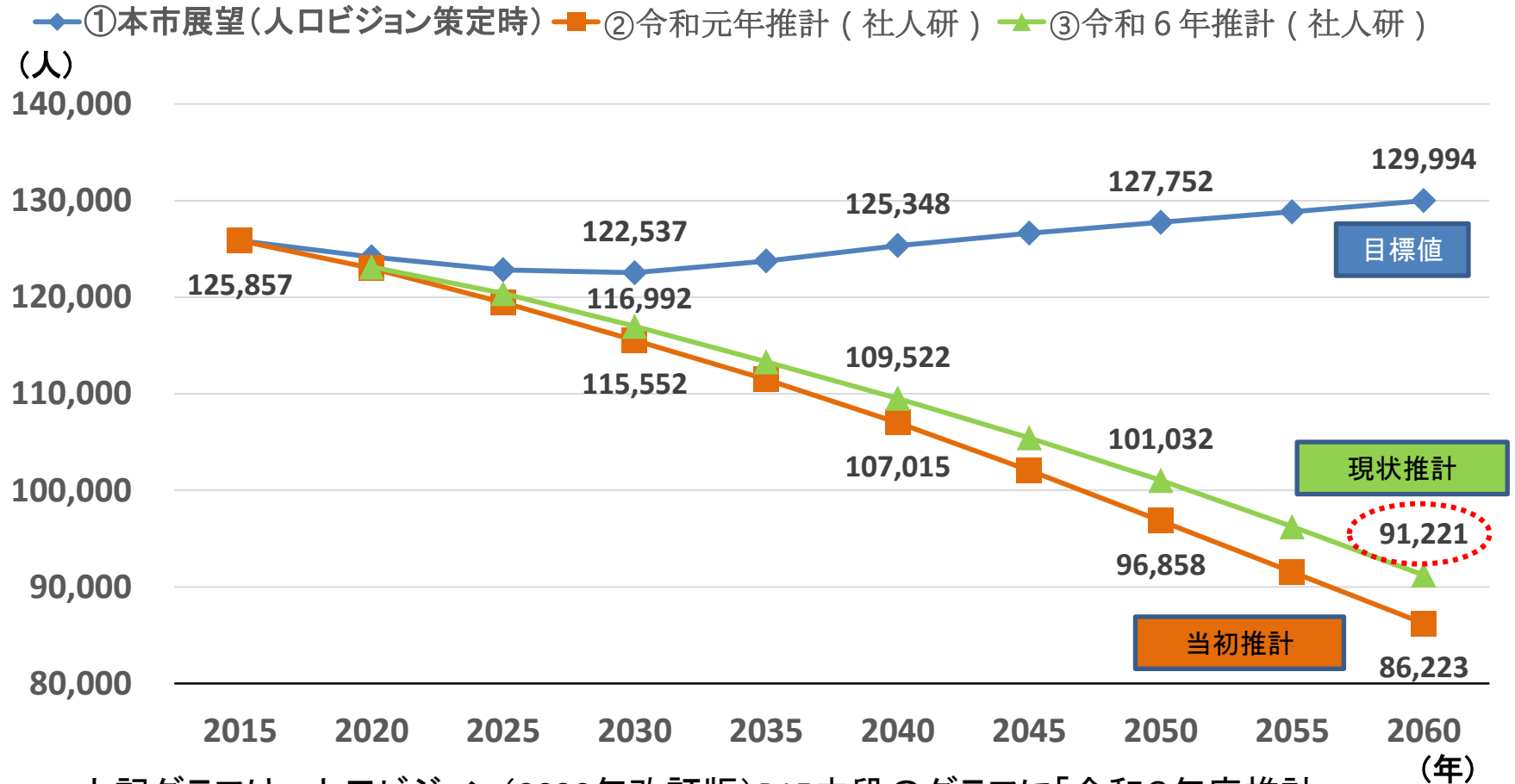
第2期

期間:令和2年度～令和4年度



人口ビジョン(2020年改訂版)資料

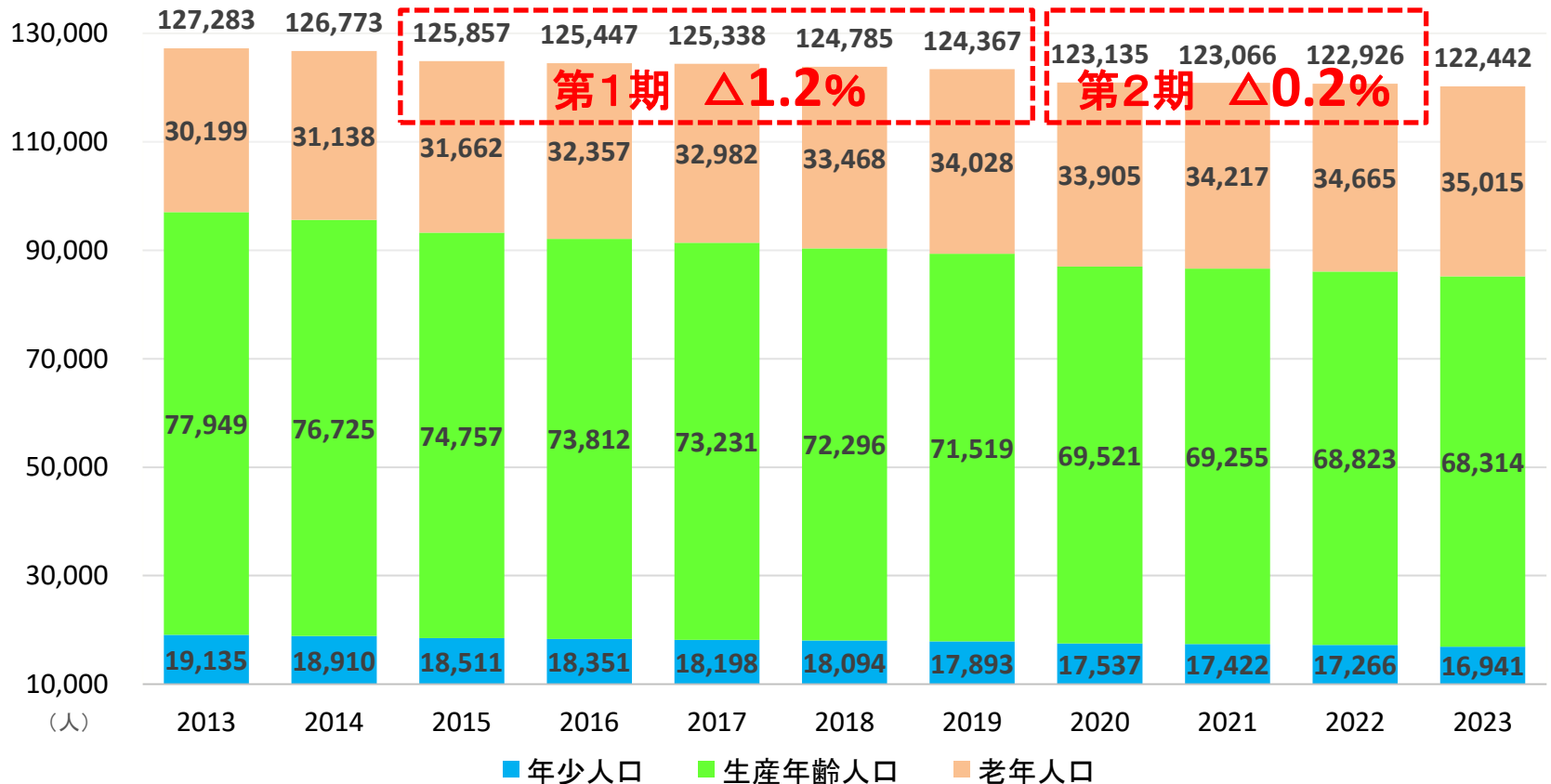
＜将来の人口の推移＞



上記グラフは、人口ビジョン(2020年改訂版)P15中段のグラフに「令和6年度推計(社人研)」(③)を加えたものです。本市展望の前提条件等は、人口ビジョン(2020年改訂版)P15を参照ください。

総合戦略の総括

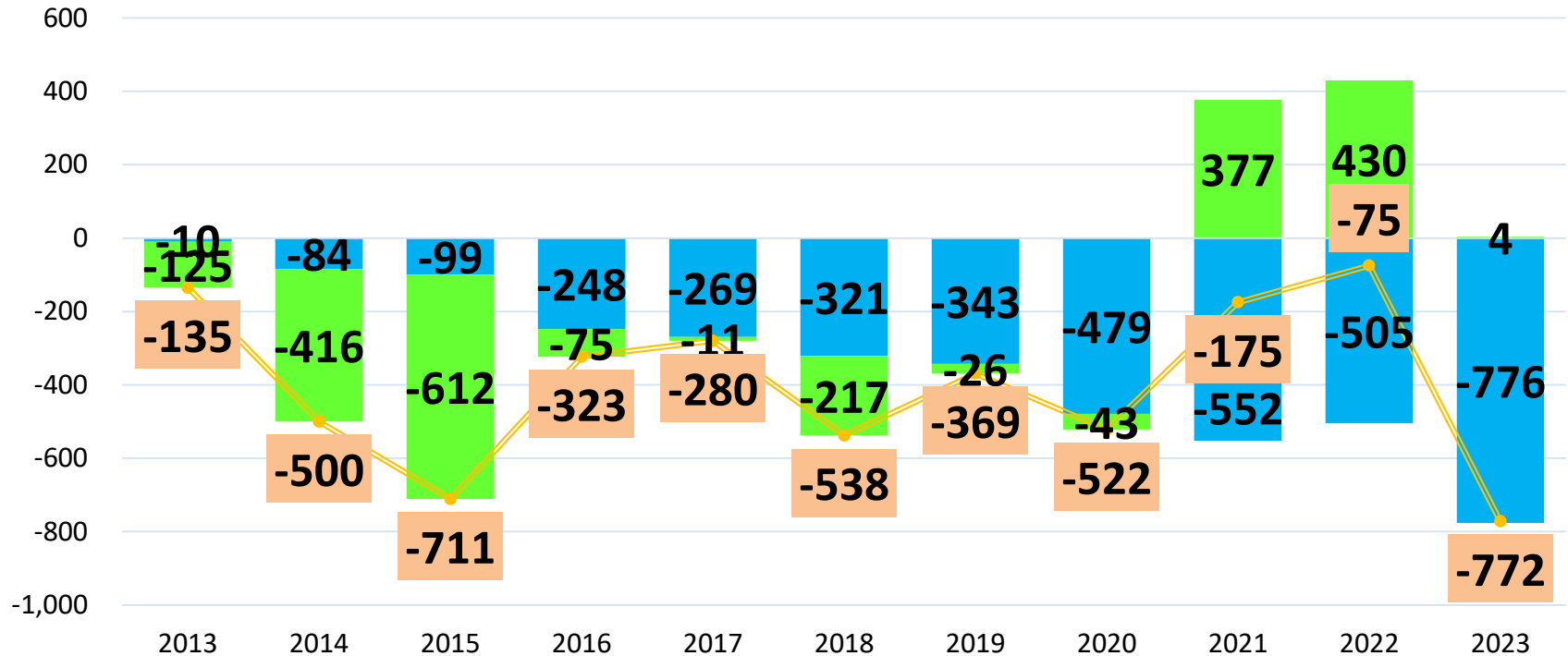
年齢3区分別人口推移



(資料) 2015 (H27)、2020 (R2) : 国勢調査、それ以外 : 鹿児島県人口移動調査(推計人口)年報

総合戦略の総括

人口増減数(自然増減数、社会増減数)推移



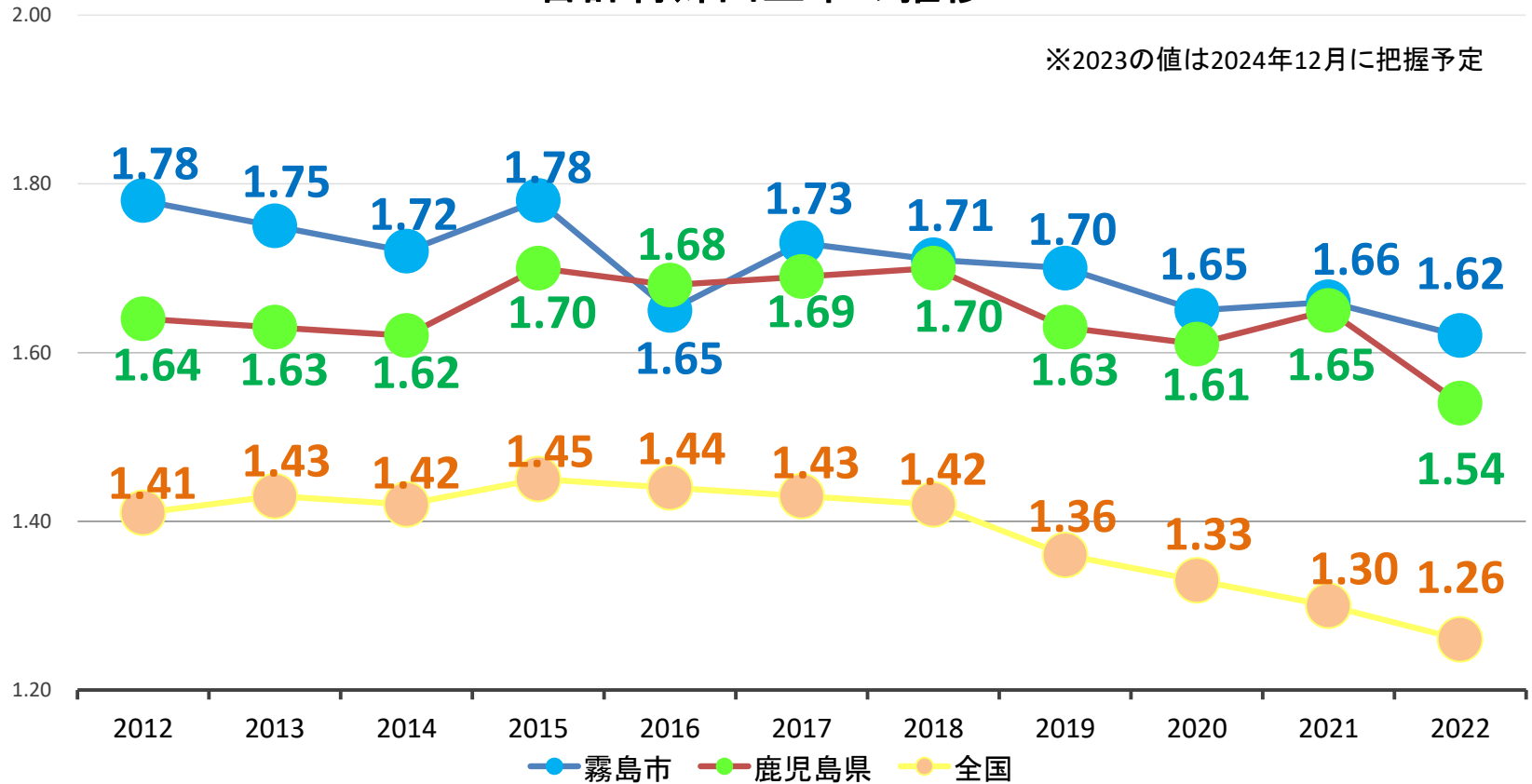
(人)

■ 自然増減数 ■ 社会増減数 —●— 人口増減数
(資料)RESAS/総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

総合戦略の総括

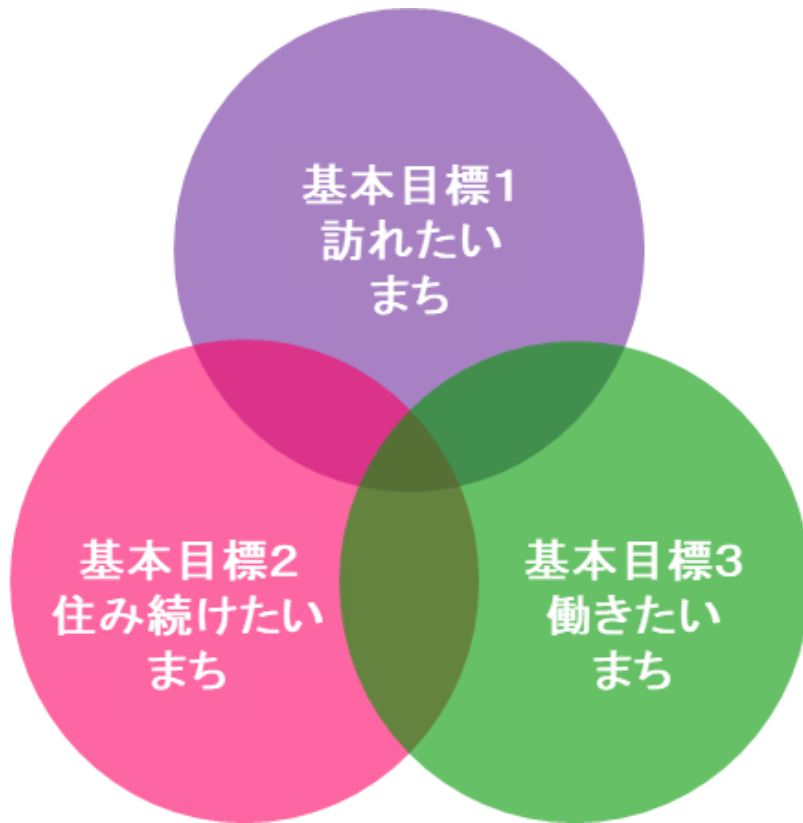
合計特殊出生率の推移

※2023の値は2024年12月に把握予定



第3期総合戦略の取組状況

期間:令和5年度～令和9年度



基本目標の KPI	第3期		第2期 (参考)
	基準値	目標値 (R9)	目標値 (R4)
相談窓口を経た 移住者数(年間)	198人 (R3)	220人	300人
観光客数 (宿泊+日帰り、年 間)	4,491,954 人(R3)	7,490,000 人	8,034,000 人
合計特殊出生率	1.66 (R3)	1.88	1.84
社会動態	社会増の維持 ※転入者数>転出者数		
立地協定締結件 数(増設含む、累 計)	80件 (R3)	100件	79件
創業支援センター と創業セミナーに おける起業・創業 者数(年間)	11事業者 (R3)	20事業者	18事業者
農業産出額 (推計、年間)	21,200 百万円(R2)	21,200 百万円	21,970 百万円

※第2期の成果指標から「観光消費額」を削除。

第3期総合戦略の取組状況

基本目標1 訪れたいまち

1 I・J・U “移住天国霧島”魅力増進計画

- 移住定住の促進(5-1-3)
- シティプロモーションの推進(5-3-3)

2 “感動”を生み出す霧島流「五感再生ツーリズム」

- 国内外の観光客の誘致(1-3-1) ●観光素材の創出と活用(1-3-2)
- 利便性の高い観光地づくりの推進(1-3-3)
- 文化財の保存・継承と活用(4-2-4)

基本目標2 住み続けたいまち

1 結婚・出産・子育て支援の充実

- 妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援の充実(3-2-1)
- 多様なニーズに応じた子育て環境の充実(3-2-2)
- 子育てに関する負担軽減の推進(3-2-3)
- 結婚を希望する人への支援(3-2-4)

2 子どもの夢と豊かな心を育む教育の推進

- 夢実現のための学力の向上と個性を育む教育の推進(4-1-1)
- 専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実(4-1-4)
- 生きる力を育む体験・交流活動の充実(4-2-1)
- スポーツに親しむ環境づくりの推進(4-3-1)
- 芸術文化に親しむ環境づくりの推進(4-3-2)

3 住民自治の推進による魅力ある地域社会の形成

- 火災の予防及び救急・救助体制の充実(2-4-2)
- 交通安全・防犯対策の推進(2-4-3)
- 質の高い医療体制の確保(3-1-2)
- 市民活動の支援と協働の推進(5-1-1)

4 既存ストック活用等による地域の活性化

- 創業支援と企業誘致(1-1-2) ●中山間地域の活動支援(5-1-2)
- 公有財産の適切な管理と利活用(6-2-4)

5 公共交通の見直し等による生活利便性の向上と地域間連携の推進

- 総合的な公共交通の連携の強化(1-4-1)
- バス交通の利便性向上と効率的運行(1-4-2)
- 広域的な連携の推進(5-3-2)

6 環境と調和したまちづくりの推進

- 自然環境の保全(2-1-1) ●ごみの減量化・資源化(2-2-1)
- ごみの適正な排出・処理(2-2-2) ●地球温暖化対策の推進(2-2-3)
- 良質な住環境の整備(2-3-1)
- 道路ネットワークの構築と道路施設の維持(2-3-2)

7 デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進

- デジタル技術を活用した行政サービスの充実(6-1-1)

基本目標3 働きたいまち

1 「強み」を活かした企業の誘致、中小零細企業の多様で活 力のある成長・発展の実現

- 地域を支える産業の育成・支援(1-1-1) ●創業支援と企業誘致(1-1-2)

2 「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造

- 霧島ブランドの確立と販路の拡大(1-1-3)
- 農林水産業の担い手の育成・確保(1-2-1)
- 生産基盤の整備と農山漁村の振興(1-2-2)
- 農林水産業の稼ぐ力の向上(1-2-3)

3 多様な人材と市内企業をつなぐ就職マッチング

- 魅力的な就業環境と担い手の確保(1-1-4)

※●は、プロジェクトの方向性における総合計画の基本事業名。後ろの()は総合計画の政策-施策-基本事業の番号。

プロジェクトの方向性

- **移住定住の促進**として、東京・大阪でのイベント等を通じて、本市の魅力を広くPRすることで、関係人口や移住者の増加につなげるとともに、移住相談体制の充実や空き家バンク制度の活用を図る。
- **シティプロモーションの推進**として、市民のまちへの愛着度を高める「キラシマイスター」活動を推進しながら、市民と共にSNS等を活用し本市のPRを行う。

令和5年度の主な事業

- **移住定住促進補助事業**
中山間地域に住宅を新築・賃借したり、市街地を含む市内に住宅を購入・増改築した転入・転居者に補助金を給付する。
- **移住PR・体験事業**
移住者との交流や農作業体験を盛り込んだ移住体験ツアーを実施する。
- **キラシマイスター活動**
キラシマイスター認定校による活動や11/7「いいなの日」に活動のPRイベントを実施。

KPI	基準値 (R3)	目標値 (R9)
相談窓口を経た 移住者数(年間)	198人	220人
移住プロモーションによる相談件数 (年間)	743件	800件



プロジェクトの方向性

- 移住定住の促進**として、東京・大阪でのイベント等を通じて、本市の魅力を広くPRすることで、関係人口や移住者の増加につなげるとともに、移住相談体制の充実や空き家バンク制度の活用を図る。
- シティプロモーションの推進**として、市民のまちへの愛着度を高める「クリスマスマスター」活動を推進しながら、市民と共にSNS等を活用し本市のPRを行う。

KPI	基準値 (基準年度=N)	実績値 (N+1年度)	目標値 (N+5年度)
相談窓口を経た移住者数(年間)	198人	233人	220人
移住プロモーションによる相談件数(年間)	743件	748件	800件

令和5年度の主な事業**成果**

- 移住定住促進補助事業
県外等の年6回のイベントやオンライン移住相談会で87組、118人の移住相談に応じた。補助金の総計は62件14,886,500円であった。
- 移住PR・体験事業
移住体験ツアーは4組5人、オーダーメイド型移住ツアーでは、6組11人に対応した。
- クリスマスマスター活動
クリスマスマスター認定校による活動や11/7「いいなの日」に活動のPRイベントを実施。

令和6年度の主な事業

※新規・拡充事業を中心に記載。

- オーダーメイド型移住ツアーの充実や出張移住相談会、オンライン相談会の実施



プロジェクトの方向性

- **国内外の観光客の誘致**として、観光的ポテンシャルを生かしながら旅行ニーズ等を捉えた誘客や情報発信に努め、**観光素材の創出と活用**として、ジオパークサイト等「霧島ならではの」観光素材の魅力を生かす。
- **利便性の高い観光地づくりの推進**として、ユニバーサルデザイン・多言語対応、通信環境整備や交通拠点からの二次アクセス確保を図る。
- **文化財の保存・継承と活用**として、歴史・文化財・郷土芸能等に触れられる機会や団体交流を充実する。

KPI	基準値 (R3)	目標値 (R9)
国内宿泊客数 (年間)	540,958 人	770,000 人
外国人宿泊客数 (年間)	1,179 人	120,000 人
文化財保存・継承 活動の実践者と 参加者の人数 (年間)	5,278人	8,000人

令和5年度の主な事業

- **観光宣伝事業**
市場動向や観光客のニーズ、ターゲット層、時期等に合わせ、観光宣伝イベント・商談会等に参加。
- **観光地への二次アクセス維持・活用**
霧島連山周遊バス等、観光地への二次アクセス交通を維持、JR活用によるクルーズ船乗客の誘客も検討。
- **文化財整備事業**
文化財の修復、復元、養生、整備等を実施。R5は国宝となった霧島神宮の防火設備等も整備する。



基本目標1 訪れたいまち 実績シート

2_“感動”を生み出す霧島流「五感再生ツーリズム」

プロジェクトの方向性

- 国内外の観光客の誘致として、観光的ポテンシャルを生かしながら旅行ニーズ等を捉えた誘客や情報発信に努め、**観光素材の創出と活用**として、ジオパークサイト等「霧島ならではの」観光素材の魅力を生かす。
- 利便性の高い観光地づくりの推進**として、ユニバーサルデザイン・多言語対応、通信環境整備や交通拠点からの二次アクセス確保を図る。
- 文化財の保存・継承と活用**として、歴史・文化財・郷土芸能等に触れられる機会や団体交流を充実する。

令和5年度の主な事業成果

- 観光宣伝事業
市場動向や観光客のニーズ、ターゲット層、時期等に合わせ、観光宣伝イベント・商談会等に参加。
- 観光地への二次アクセス維持・活用
鹿児島空港から霧島神宮へ乗換無しの交通手段を確保することで、アクセスの改善に加え、他の観光バスとの接続による回遊性の向上などで更なる観光客の増加が見込まれることから、新たな観光路線バスの実証運行を行った。
- 文化財整備事業
市内文化財の環境整備、看板等の設置・修繕、市指定「宮坂貝塚」覆屋の修繕を行った。また、国宝「霧島神宮」、重要文化財「鹿児島神宮」、県指定「霧島民芸村」、市指定「宮毘神社のカヤ」「高木家住宅」の整備事業等に補助金を交付し文化財の保存・継承を図った。

KPI	基準値 (基準年度 =N)	実績値 (N+1年 度)	目標値 (N+5年 度)
国内宿泊客数 (年間)	540,958 人 (R3)	717,317 人	770,000 人
外国人宿泊客数 (年間)	1,179 人 (R3)	4.475人	120,000 人
文化財保存・継承 活動の実践者と 参加者の人数 (年間)	5,278人 (R3)	7,016人	8,000人



令和6年度の主な事業

※新規・拡充事業を中心に記載。

- 既存のバス路線に加え、霧島神宮アクセスバス実証運行を7月20日から12月31日までの期間で実施。
- 台湾(9月)、香港(11月)に赴き観光客誘致セールスを実施。

1_結婚・出産・子育て支援の充実

プロジェクトの方向性

- 妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援の充実として、健診・相談・産後ケア等の実施、子育て支援センターとの連携を図る。結婚を希望する人への支援として、出会いサポートセンターとの連携を図る。
- 多様なニーズに応じた子育て環境の充実として、延長保育、病児・病後児保育等のサービス充実に努め、子育てに関する負担軽減の推進として、子ども医療費助成・保育料の軽減、ひとり親家庭への支援を行う。

令和5年度の主な事業

※赤字は新規・拡充。

- 送迎用バスへの安全装置の導入支援
児童クラブ、保育所等のバスに設置費用を補助する。
- 障害児保育支援事業
療育支援児保育補助金、障害児保育円滑化事業補助金の新規メニューを創設。
- 子育て支援アプリ導入事業
母子健康手帳の管理や健診・教室等のプッシュ型通知、オンライン予約を可能にするアプリを導入。
- 産後ケア事業アウトリーチ(訪問)型
助産師の産後ケア(宿泊・日帰り型)に訪問型を追加。

KPI	基準値 (R3)	目標値 (R9)
妊娠・出産について満足している市民の割合	93.0%	95.0%
18歳以下の児童数(3月31日現在)	22,768人	23,168人
かごしま出会いサポートセンターを利用した市民のカップル成立数(年間)	51組	56組



1_結婚・出産・子育て支援の充実

プロジェクトの方向性

- 妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援の充実**として、健診・相談・産後ケア等の実施、子育て支援センターとの連携を図る。**結婚を希望する人への支援**として、出会いサポートセンターとの連携を図る。
- 多様なニーズに応じた子育て環境の充実**として、延長保育、病児・病後児保育等のサービス充実に努め、**子育てに関する負担軽減の推進**として、子ども医療費助成・保育料の軽減、ひとり親家庭への支援を行う。

令和5年度の主な事業成果

※赤字は新規・拡充。

●送迎用バスへの安全装置の導入支援

送迎用バスへの置き去り防止のためのブザーを設置したことにより、園児等が送迎用バスへ置き去りとなる事故を未然に防ぐことが可能となった。

●障害児保育支援事業

軽度を含む障害児に対する適切な保育環境を確保するため、障害児保育事業、軽度障害児保育事業、療育支援児保育事業及び障害児保育円滑化事業により保育士の加配等を行った保育所等に補助を行い、障害児保育の推進に寄与した。

●子育て支援アプリ導入事業

子育て支援アプリから子育て情報の配信や、教室の予約、予防接種・健診等の案内を行い子育て支援に努めた。

●産後ケア事業アウトリーチ(訪問)型

令和5年4月から産後ケア事業の訪問型、10月から日帰り型を開始するとともに、非課税世帯等の利用料を無料とし、課税世帯の利用料も減額し、産後ケアを利用しやすくし、産後の母子の心身のケア及び育児サポートができる環境整備に努めた。

令和6年度の主な事業

※新規・拡充事業を中心に記載。

- こども誰でも通園制度実施に向けた整備
- 生後1か月児の健康診査の開始
- 産後ケア事業の5日以内の利用料を無償化
- 放課後児童クラブの現状把握

KPI	基準値 (基準年度=N)	実績値 (N+1年度)	目標値 (N+5年度)
妊娠・出産について満足している市民の割合	93.0% (R3)	94.9%	95.0%
18歳以下の児童数 (3月31日現在)	22,768人 (R4)	22,510人	23,168人
かごしま出会いサポートセンターを利用した市民のカップル成立数 (年間)	51組 (R3)	59組	56組



2_子どもの夢と豊かな心を育む教育の推進

プロジェクトの方向性

- 夢実現のための学力の向上と個性を育む教育の推進、生きる力を育む体験・交流活動の充実として、授業へのICT活用や教員の働き方改革、企業・高等機関と連携したキャリア教育の充実、多様性の育成を図る。
- 専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実として、国分中央高校の設備充実、定員確保等を図る。
- スポーツに親しむ環境づくりの推進、芸術文化に親しむ環境づくりの推進として、スポーツ・芸術活動人口の増加や施設の整備、各団体の交流・活性化を図る。

令和5年度の主な事業

※赤字は新規・拡充。

- スクールサポートスタッフ配置事業**
教員が授業や教材研究等に集中できるよう、26学級以上の小・中6校に各1人事務支援員を配置。
- 国分中央高校設備整備事業**
教員・1学年貸与用のタブレット端末を購入、校内のWi-Fi環境を整備。
- 市民会館大規模リニューアル設計業務委託**
R5～6に建築・設備の設計委託、R7～8に空調・防水・耐震等の工事を実施。

KPI	基準値 (R3)	目標値 (R9)
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	54.2%	65.0%
学習定着度調査における平均通過率の県との比較	-6.2ポイント	1.5ポイント
市内の体育施設の年間延べ利用者数(年間)	646,523人	930,000人
芸術文化事業の実践者と鑑賞者の人数(年間)	49,692人	110,000人
芸術文化団体に所属している人数	2,346人	2,581人



プロジェクトの方向性

- 夢実現のための学力の向上と個性を育む教育の推進、生きる力を育む体験・交流活動の充実として、授業へのICT活用や教員の働き方改革、企業・高等機関と連携したキャリア教育の充実、多様性の育成を図る。
- 専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実として、国分中央高校の設備充実、定員確保等を図る。
- スポーツに親しむ環境づくりの推進、芸術文化に親しむ環境づくりの推進として、スポーツ・芸術活動人口の増加や施設の整備、各団体の交流・活性化を図る。

令和5年度の主な事業成果

※赤字は新規・拡充。

●スクールサポートスタッフ配置事業

令和5年度、小学校5校、中学校1校の6校に事務支援員を配置した。印刷業務等を行うことで、教員の負担を軽減することができた。

●国分中央高校設備整備事業

Wi-Fi環境を整備し、タブレット端末を導入したことにより、ICT学習が推進できた。また、タブレットの持ち帰りにより、家庭での学習内容の充実が可能となった。

●市民会館大規模リニューアル設計業務委託

R5～6に建築・設備の設計委託、R7～8に空調・防水・耐震等の工事を実施。

令和6年度の主な事業

※新規・拡充事業を中心に記載。

- 小中学校施設整備事業により建物の長寿命化改良工事などを実施。
- 民間事業者とタイアップしたきりしまっ子の体験事業(職業体験)を実施。

KPI	基準値 (基準年度 =N)	実績値 (N+1年度)	目標値 (N+5年度)
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	54.2% (R4)	54.0%	65.0%
学習定着度調査における平均通過率の県との比較	-6.2 ポイント (R3)	-2.1 ポイント	1.5 ポイント
市内の体育施設の年間延べ利用者数(年間)	646,523 人 (R3)	834,482 人	930,000 人
芸術文化事業の実践者と鑑賞者の人数(年間)	49,692 人 (R3)	55,956人	110,000 人
芸術文化団体に所属している人数	2,346人 (R3)	2,337人	2,581人



3_住民自治の推進による魅力ある地域社会の形成

プロジェクトの方向性

- **火災の予防と救急・救助体制の充実**として、火災警報器の設置促進、防火教室・普通救命講習等の実施、防火・防災施設の整備を行う。
- **交通安全・防犯対策の推進**として、交通安全教室・防犯パトロール等の実施、交通安全施設の整備を行う。
- **質の高い医療体制の確保**として、夜間・休日の医療体制充実や医師会医療センターの整備等を図る。
- **市民活動の支援と協働の推進**として、自治会への加入、道義高揚活動・ふれあいボランティア等への参加の促進を図る。

令和5年度の実施計画

※赤字は新規・拡充。

- **医師会医療センター施設整備事業**
R4に実施設計が終了し、R5は本格的に建設工事を進め、R6の完成を目指す。
- **市民活動支援事業**
市民グループが企画・提案・実施する公益的事業を募集し、経費の一部を補助する。

KPI	基準値 (R3)	目標値 (R9)
救急講習等を受講した市民の割合(累計)	2.0%	9.0%
交通事故発生件数(人身・暦年)	412件	412件以下
刑法犯罪認知件数(暦年)	369件	350件
休日診療に参加する医療機関数(合計)	132カ所	132カ所
自治会加入率	56.5%	56.5%
まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数(年間)	349団体	650団体



3_住民自治の推進による魅力ある地域社会の形成

プロジェクトの方向性

- 火災の予防と救急・救助体制の充実として、火災警報器の設置促進、防火教室・普通救命講習等の実施、防火・防災施設の整備を行う。
- 交通安全・防犯対策の推進として、交通安全教室・防犯パトロール等の実施、交通安全施設の整備を行う。
- 質の高い医療体制の確保として、夜間・休日の医療体制充実や医師会医療センターの整備等を図る。
- 市民活動の支援と協働の推進として、自治会への加入、道義高揚活動・ふれあいボランティア等への参加の促進を図る。

令和5年度の主な事業成果

※赤字は新規・拡充。

●医師会医療センター施設整備事業

始良地区医師会等との連携により、夜間・休日における救急医療体制の強化が図られた。霧島市立医師会医療センター施設整備については令和4年12月から工事に着手し、令和7年2月の開院に向け、計画どおり工事を行った。

●市民活動支援事業

地区自治公民館、自治会及び市民活動団体へ継続的な支援に務めた。自治会加入率向上に向けて、霧島市自治公民館連絡協議会と連携を図りながら、加入促進のチラシ配布やのぼり旗設置などを行った。

花いっぱい運動の参加団体は、232団体、あいさつ運動の委託校区は、20校区、ふれあいボランティアの日の参加者は、6,518人であった。

令和6年度の主な事業

※新規・拡充事業を中心に記載。

- 霧島市立医師会医療センター新病院(令和7年2月開院予定)
- 映像通報システム「live119」の導入に向けた実証事業

KPI	基準値 (基準年度 =N)	実績値 (N+1年 度)	目標値 (N+5年 度)
救急講習等を受講した市民の割合(累計)	2.0% (R3)	3.2%	9.0%
交通事故発生件数(人身・暦年)	412件 (R3)	303件	412件以下
刑法犯罪認知件数(暦年)	369件 (R3)	374件	350件
休日診療に参加する医療機関数(合計)	129カ所 (R4)	130カ所	129カ所
自治会加入率	56.5% (R3)	55.7%	56.5%
まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数(年間)	349団体 (R3)	380団体	650団体



4_既存ストック活用等による地域の活性化

プロジェクトの方向性

- **創業支援と企業誘致**として、リノベーションまちづくりによる空き店舗等の活用促進や、その取組を牽引するプレイヤーの発掘・育成に努める。
- **中山間地域の活動支援**として、大学生による「マンパワー支援事業」や地域おこし協力隊員の配置、中山間地域の公共施設や空き家・空き店舗等の有効活用を図る。
- **公有財産の適切な管理と利活用**として、民間事業者からアイデアを募集し、官民連携の取組を推進する。

KPI	基準値 (R3)	目標値 (R9)
空き家の利活用 件数(年間)	16件	20件
官民連携による 公共施設の活用 等の実施件数 (累計)	0件	3件

令和5年度の主な事業

※赤字は新規・拡充。

- **新規創業・第二創業促進支援事業**
地域資源(自然環境、文化、食、人、空き家等)を活用する若者や女性のチャレンジを支援し、まちづくり団体を育成する。リノベーションスクール、女子起業ラボ、LIVE KIRISHIMA等の取組を実施。
- **元気なふるさと再生事業**
地域おこし協力隊による溝辺町竹子の活性化等。
- **ネーミングライツ(公有財産の活用)**
公共施設の命名権を企業等に販売する。



4_既存ストック活用等による地域の活性化

プロジェクトの方向性

- **創業支援と企業誘致**として、リノベーションまちづくりによる空き店舗等の活用促進や、その取組を牽引するプレイヤーの発掘・育成に努める。
- **中山間地域の活動支援**として、大学生による「マンパワー支援事業」や地域おこし協力隊員の配置、中山間地域の公共施設や空き家・空き店舗等の有効活用を図る。
- **公有財産の適切な管理と利活用**として、民間事業者からアイデアを募集し、官民連携の取組を推進する。

KPI	基準値 (基準年度 =N)	実績値 (N+1年 度)	目標値 (N+5年 度)
空き家の利活用 件数(年間)	16件 (R3)	18件	20件
官民連携による 公共施設の活用 等の実施件数 (累計)	0件 (R3)	4件	3件

令和5年度の主な事業成果

※赤字は新規・拡充。

- **新規創業・第二創業促進支援事業**
きりしま女子起業ラボやリノベーションスクール等の開催を通じて、機運の醸成や人材の発掘・育成を行うことができた。
- **元気なふるさと再生事業**
溝辺町竹子地区において、地域おこし協力隊を配置し、商品開発や地域の情報発信を通じ、地域の活性化に向けた取組を行った。
- **ネーミングライツ(公有財産の活用)**
「霧島市民会館」や「国分運動公園」等の公共施設に対する愛称命名権を販売し、新たな財源の確保を図った。また、民間提案制度により国分シビックセンター既存照明のLED化を実施し、使用電力及びCO2排出量の抑制を図った。



令和6年度の主な事業

※新規・拡充事業を中心に記載。

- **ネーミングライツ・パートナー事業(みやまの森運動公園の募集)**
- **公共施設照明LED化事業**
- **公募による指定管理の推進**

基本目標2 住み続けたいまち 令和5年度ふるさと創生有識者会議資料

5_公共交通の見直し等による生活利便性の向上と地域間連携の推進

プロジェクトの方向性

- **総合的な公共交通の連携の強化**として、航空は県・関係機関との連携による新規路線誘致や観光地等への二次アクセス強化、鉄道は路線や運行本数の維持・存続を通じ、利用者の利便性向上を図る。
- **バス交通の利便性向上と効率的運行**として、バス路線の維持・確保、環境に配慮した小型車両への転換、デジタルを活用した運行など「質」の向上を図る。
- **広域的な連携の推進**として、ジオパーク活動の推進や近隣自治体等と防災・観光・環境等の観点から連携を図る。

令和5年度の主な事業

※赤字は新規・拡充。

- **AI活用型オンデマンドバス実証運行事業**
中心市街地・溝辺地区の一部で、AI(人工知能)を活用した予約型乗合交通サービスの実証実験を行う。
- **Maasによる地域公共交通利便性向上実証事業**
スマホでバスの到着予定時刻や通過地点等を把握できるロケーションシステムを導入し、バス利用の利便性向上を図る。

KPI	基準値 (R3)	目標値 (R9)
肥薩線(吉松～隼人)の平均通過人員(人/日)	518人	605人
日豊本線(都城～国分)の平均通過人員(人/日)	830人	1,389人
ふれあいバスの1便当たりの利用者数	2.7人	4人
市街地循環バス・観光バスの1便当たりの利用者数	3.7人	5人
広域連携により実施した事業件数(累計)	22件	30件



基本目標2 住み続けたいまち 実績シート

5_公共交通の見直し等による生活利便性の向上と地域間連携の推進

プロジェクトの方向性

- 総合的な公共交通の連携の強化として、航空は県・関係機関との連携による新規路線誘致や観光地等への二次アクセス強化、鉄道は路線や運行本数の維持・存続を通じ、利用者の利便性向上を図る。
- バス交通の利便性向上と効率的運行として、バス路線の維持・確保、環境に配慮した小型車両への転換、デジタルを活用した運行など「質」の向上を図る。
- 広域的な連携の推進として、ジオパーク活動の推進や近隣自治体等と防災・観光・環境等の観点から連携を図る。

令和5年度の主な事業成果

※赤字は新規・拡充。

●AI活用型オンデマンドバス実証運行事業

令和5年11月20日から中心市街地・溝辺地区の一部で、AI(人工知能)を活用した予約型乗合交通「きりしまMワゴン」の実証運行を開始。年度内に962人の会員登録があった。

●Maasによる地域公共交通利便性向上実証事業

令和5年8月1日からスマホでバスの到着予定時刻や通過地点等を把握できるバスロケーションシステムの運用を開始。年度内に2,751回の閲覧があった。

令和6年度の主な事業

※新規・拡充事業を中心に記載。

- 「きりしまMワゴン」の一部エリアを拡大し、第2次実証運行(令和6年4月1日～)、本格運行(令和6年10月1日～)へ移行。

KPI	基準値 (基準年度 =N)	実績値 (N+1年 度)	目標値 (N+5年 度)
肥薩線(吉松～ 隼人)の平均通過 人員(人/日)	518人 (R3)	493件	605人
日豊本線(都城～ 国分)の平均通過 人員(人/日)	830人 (R3)	1,068件	1,389人
ふれあいバスの 1便当たりの 利用者数	2.7人 (R3)	2.7人	4人
市街地循環バス・ 観光バスの 1便当たりの 利用者数	3.7人 (R3)	3.3人	5人
広域連携により 実施した 事業件数(累計)	22件 (R3)	32件	30件



6_環境と調和したまちづくりの推進

プロジェクトの方向性

- **自然環境の保全**として、森林環境譲与税の活用による森林整備や、野生動植物の生息する森林・河川等を保全する。
- **ごみの減量化・資源化**として、4R活動の推進、啓発活動の工夫に努め、**適正な排出・処理**として、不法投棄防止パトロールやごみ分別アプリの普及、新たなごみ処理施設の整備を進める。
- **地球温暖化対策**として再生可能エネルギーの導入、森林整備等を進める。
- **良質な住環境整備、道路施設等の維持**として、市営住宅・橋梁等の長寿命化、区画整理、公園の維持管理、渋滞緩和に資する道路整備を行う。

令和5年度の主な事業

※赤字は新規・拡充。

- **地球温暖化対策実行計画策定事業**
市域全体の温室効果ガス排出実態や再生可能エネ導入ポテンシャルを把握し、脱炭素化への計画を策定。
- **高齢者等ごみ戸別収集事業**
要介護の高齢者や障がい者など、家庭のごみ出しが困難な世帯を戸別収集する。

KPI	基準値 (R3)	目標値 (R9)
海域の環境基準 (COD)達成 地点数	3地点	4地点
大気・河川の環境 基準達成率	75.1%	90.0%
市民一人1日当た りの家庭系ごみ の排出量	637g	619g
リサイクル率	16.7%	19.7%
再生可能 エネルギー 導入容量(累計)	366,236 KW	549,622 KW
市の事務事業に 由来する温室効果 ガス排出量	43,000 t-CO2	29,899 t-CO2
都市公園内の更 新・新設した公園 施設数(累計)	17件	35件
市道の改良率	48.3%	48.9%

6_環境と調和したまちづくりの推進

プロジェクトの方向性

- **自然環境の保全**として、森林環境譲与税の活用による森林整備や、野生動植物の生息する森林・河川等を保全する。
- **ごみの減量化・資源化**として、4R活動の推進、啓発活動の工夫に努め、**適正な排出・処理**として、不法投棄防止パトロールやごみ分別アプリの普及、新たなごみ処理施設の整備を進める。
- **地球温暖化対策**として再生可能エネルギーの導入、森林整備等を進める。
- **良質な住環境整備、道路施設等の維持**として、市営住宅・橋梁等の長寿命化、区画整理、公園の維持管理、渋滞緩和に資する道路整備を行う。

令和5年度の主な事業成果

※赤字は新規・拡充。

●地球温暖化対策実行計画策定事業

令和5年度地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画支援事業(国庫)を活用し、企画提案型公募による地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定業務を進めるため、庁内組織である「霧島市地球温暖化防止活動実行委員会」や附属機関である「霧島市環境対策審議会」において協議を重ね、当該計画の素案を取りまとめた。

●高齢者等ごみ戸別収集事業

ごみを出すことが困難な方々を戸別に収集する機会を設けたことで、資源物を分別するきっかけとなった。

令和6年度の主な事業

※新規・拡充事業を中心に記載。

- 霧島市省エネ家電買換支援事業
- 再生可能エネルギーの推進(地熱発電)
- ゼロカーボンきりしま戦略策定

KPI	基準値 (基準年度 =N)	実績値 (N+1年 度)	目標値 (N+5年 度)
海域の環境基準(COD)達成地点数	3地点 (R3)	3地点	4地点
大気・河川の環境基準達成率	75.1% (R3)	86%	90.0%
市民一人1日当たりの家庭系ごみの排出量	637g (R3)	639g	619g
リサイクル率	16.7% (R3)	17.1%	19.7%
再生可能エネルギー導入容量(累計)	366,236 KW (R3)	414,405 KW	549,622 KW
市の事務事業に由来する温室効果ガス排出量	43,000 t-CO2 (R3)	46,452 t-CO2	29,899 t-CO2
都市公園内の更新・新設した公園施設数(累計)	17件	23件	35件
市道の改良率	48.3%	48.5%	48.9%

7 デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進

プロジェクトの方向性

● **デジタル技術を活用した行政サービスの充実**として行政サービスのデジタル化、業務効率化を図るとともに、サイバーセキュリティ確保、個人情報の適切な取扱いに努める。事業者や地域のデジタル化の取組も支援する。

KPI	基準値 (R3)	目標値 (R9)
マイナンバーカードの交付率 (3月31日現在)	40.4%	100%
オンラインで申請 できる手続数 (累計)	11手続	38手続

令和5年度の主な事業

※赤字は新規・拡充。

● **住民異動支援システム導入事業**

住民異動届の聞き取り作成、異動情報のPC入力の自動化、他課への申請書への情報自動転記など、住民サービスと処理速度・正確性の向上を図る。

● **電算システム機器保守運用事業**

庁内ネットワークの無線化によるペーパーレス化等の実証実験、職員PCのインターネット閲覧環境の整備、外部との大容量ファイル共有化により、事務効率の向上を図る。

● **高齢者へのスマホ教室**

高齢者がデジタル行政サービスを受けられるよう、民間と連携しスマートフォンの使い方教室を実施。



基本目標2 住み続けたいまち 実績シート

7 デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進

プロジェクトの方向性

●デジタル技術を活用した行政サービスの充実として行政サービスのデジタル化、業務効率化を図るとともに、サイバーセキュリティ確保、個人情報の適切な取扱いに努める。事業者や地域のデジタル化の取組も支援する。

令和5年度の主な事業成果

※赤字は新規・拡充。

●住民異動支援システム導入事業

住民異動届の聞き取り作成、異動情報のPC入力の自動化、市民課の申請書への情報自動転記など、住民サービスと処理速度・正確性の向上を図った。

●電算システム機器保守運用事業

庁舎本館3階、4階におけるLGWAN系ネットワーク無線化に係る実証実験や自席からのインターネット接続環境の整備等を通じ、業務の効率化を図った。

●高齢者へのスマホ教室

高齢者がデジタル行政サービスを受けられるよう、通信事業者と連携しスマートフォンの使い方教室を実施。

令和6年度の主な事業

※新規・拡充事業を中心に記載。

●LGWAN系ネットワーク無線化事業

●各種申請書への情報自動転記について関係課と連携を図る

●DX人材育成事業

KPI	基準値 (基準年度 =N)	実績値 (N+1年 度)	目標値 (N+5年 度)
マイナンバー カードの交付率 (3月31日現在)	40.4% (R4)	82%	100%
オンラインで申請 できる手続数 (累計)	11手続 (R4)	46手続	38手続



基本目標3 働きたいまち 令和5年度ふるさと創生有識者会議資料

1「強み」を生かした企業の誘致、中小零細企業の多様で活力のある成長・発展の実現

プロジェクトの方向性

●**地域を支える産業の育成・支援**として、商工業者の経営安定や経営基盤の強化を図る支援制度の継続や、社会情勢に応じた新たな支援制度の創出に努める。

●**創業支援と企業誘致**として、専門機関と連携した創業支援・フォローアップ、デジタル化支援などにより、時代に合った産業の創出を図るとともに、企業立地に適した用地確保や、本市の地理的・人材確保面での優位性を生かした企業誘致活動を進める。

KPI	基準値 (R3)	目標値 (R9)
法人市民税・法人税割の納税義務者数(年間)	3,432件	3,500件
創業支援センターと創業セミナーにおける起業・創業者数(累計)	11事業者	20事業者
立地協定締結件数(増設を含む、累計)	80件	100件
企業誘致によって新たに確保された雇用者数(累計)	2,156人	2,500人

令和5年度の主な事業

※赤字は新規・拡充。

●**商工業者融資支援事業**

新型コロナの無利子・無担保融資の返済による債務の借換保証制度を利用した事業者の返済・経費の負担軽減を図る。

●**事業継続支援給付金給付事業**

物価高騰等により事業継続が困難となっている事業者に給付金を給付する。



基本目標3 働きたいまち 実績シート

1「強み」を生かした企業の誘致、中小零細企業の多様で活力のある成長・発展の実現

プロジェクトの方向性

- **地域を支える産業の育成・支援**として、商工業者の経営安定や経営基盤の強化を図る支援制度の継続や、社会情勢に応じた新たな支援制度の創出に努める。
- **創業支援と企業誘致**として、専門機関と連携した創業支援・フォローアップ、デジタル化支援などにより、時代に合った産業の創出を図るとともに、企業立地に適した用地確保や、本市の地理的・人材確保面での優位性を生かした企業誘致活動を進める。

令和5年度の主な事業成果

※赤字は新規・拡充。

● 商工業者融資支援事業

実質、無利子・無担保の新型コロナウイルス関連融資（いわゆるゼロゼロ融資）の借換等に伴い発生する利子及び保証料に対して補助を行うことで、事業者の借入金に係る経費の負担軽減につながり、事業継続を支援することができた。

● 事業継続支援給付金給付事業

電気・ガス・食料品等の価格高騰の影響に応じた全業種への支援を行うとともに、利益率の減少が大きい事業者へ上乘せなど、事業継続が困難となっている事業者を幅広く支援することができた。

令和6年度の主な事業

※新規・拡充事業を中心に記載。

- エネルギー等価格高騰対策支援事業給付金等による事業者支援
- 新規創業・第二創業促進支援事業

KPI	基準値 (基準年度 =N)	実績値 (N+1年 度)	目標値 (N+5年 度)
法人市民税・法人 税割の納税義務 者数(年間)	3,432 件 (R4)	3,525 件	3,500 件
創業支援センター と創業セミナーに おける起業・創業 者数(累計)	11事業者 (R4)	22事業者	20事業者
立地協定締結 件数(増設を含む、 累計)	80件 (R3)	89件	100件
企業誘致に よって新たに 確保された雇 用者数(累計)	2,156 人 (R3)	2,323 人	2,500 人



プロジェクトの方向性

●霧島ブランドの確立と販路の拡大、農林水産業の稼ぐ力の向上として、「ゲンセン霧島」認定制度の生産者等への普及・啓発、認定品の充実、販路拡大・販売促進を図り、稼ぐ力の向上に努める。

●農林水産業の担い手の育成・確保、生産基盤の整備と農山漁村の振興として、機械導入・施設整備、農地の集積・集約等の支援により生産性を向上し、担い手の育成、新規就農・就業者の確保を図る。ほ場整備、農業施設の維持管理、鳥獣被害防除対策、漁港・漁場、林道等の整備で農山漁村の環境保全に努める。

KPI	基準値 (R3)	目標値 (R9)
「ゲンセン霧島」 認定件数(累計)	60件	65件
新規就農者数 (累計)	5人	10人
農業産出額 (年間、推計)	212億 2000万円	212億 2000万円
林業生産額 (年間、推計)	10億 7100万円	10億 7100万円
水産業生産額 (年間、推計)	1億 4000万円	1億 4000万円

令和5年度の主な事業

※赤字は新規・拡充。

●農業振興地域整備計画策定事業

R7から10年間の農業振興に係る総合的計画を策定する。R5は基礎調査。

●森林環境譲与税事業

林業の担い手確保、林道等の整備、林業事務の効率化、環境保全やCO2削減等の取組への交付金交付。

●永浜漁港整備事業

隼人町永浜漁港の集落道整備、防波堤改良、物揚場・船揚場の新設を実施。



基本目標3 働きたいまち 実績シート

2「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造

プロジェクトの方向性

- 霧島ブランドの確立と販路の拡大、農林水産業の稼ぐ力の向上として、「ゲンセン霧島」認定制度の生産者等への普及・啓発、認定品の充実、販路拡大・販売促進を図り、稼ぐ力の向上に努める。
- 農林水産業の担い手の育成・確保、生産基盤の整備と農山漁村の振興として、機械導入・施設整備、農地の集積・集約等の支援により生産性を向上し、担い手の育成、新規就農・就業者の確保を図る。ほ場整備、農業施設の維持管理、鳥獣被害防除対策、漁港・漁場、林道等の整備で農山漁村の環境保全に努める。

令和5年度の主な事業成果

※赤字は新規・拡充。

●農業振興地域整備計画策定事業

各種資料の収集(土地改良事業、遊休農地調査等)及び基礎資料作成、現地調査(ドローン及び現地調査)を行った。

●森林環境譲与税事業

林業の担い手や新規就労者への育成支援や高性能林業機械のリース支援を行い、林業の活性化に繋がった。

- ・林業担い手育成・定着促進事業補助金 申請件数:3件 4,816,000円
- ・高性能林業機械等活用支援事業補助金 申請件数:3件 3,934,100円

●永浜漁港整備事業

永浜漁港の船揚場と物揚場の整備工事を実施し、漁港施設整備事業の進捗が図られた。

- ・永浜漁港整備工事 工事請負費:112,756,000円

令和6年度の主な事業

※新規・拡充事業を中心に記載。

- 農業の「稼ぐ力」向上プロジェクト推進事業
- 森林環境譲与税事業

KPI	基準値 (基準年度 =N)	実績値 (N+1年 度)	目標値 (N+5年 度)
「ゲンセン霧島」 認定件数(累計)	60件 (R3)	64件	65件
新規就農者数 (累計)	5人 (R3)	5人	10人
農業産出額 (年間、推計)	212億 2000万 円 (R2)	226億 6000万 円	212億 2000万 円
林業生産額 (年間、推計)	10億 7100万 円 (R1)	10億 9500万 円	10億 7100万 円
水産業生産額 (年間、推計)	1億 4000万 円	3億 4000万 円	1億 4000万 円



プロジェクトの方向性

● **魅力的な就業環境と担い手の確保**として、企業・ハローワーク・教育機関等との連携強化により、若者・女性・高齢者・障がい者など多様な人材の地元雇用創出や、多様な働き方、ワーク・ライフ・バランス等の啓発に努め就職を控える世代に市内企業や地元就職の魅力を発信する。

令和5年度の主な事業

※赤字は新規・拡充。

● **学生就職支援プロジェクト推進事業**

地元高校等が学校行事として行う企業の工場等見学会に必要なバスの経費を負担。地元企業と地元高校生・大学生等とのマッチング機会を提供する場として、合同企業説明会を開催する。

● **人材確保支援事業**

事業者の採用活動等に要する費用の一部を助成し、事業の継続を支援する。

KPI	基準値 (R3)	目標値 (R9)
高校卒業時の市内就職率	34.2%	40.0%
大学等卒業時の市内就職率	12.7%	15.0%
ハローワークマザーズコーナー利用者就職率	49.5%	50.0%
ハローワーク利用者のうち35歳未満の若年者就職率	41.1%	45.0%



基本目標3 働きたいまち 実績シート

3_多様な人材と市内企業をつなぐ就職マッチング

プロジェクトの方向性

●魅力的な就業環境と担い手の確保として、企業・ハローワーク・教育機関等との連携強化により、若者・女性・高齢者・障がい者など多様な人材の地元雇用創出や、多様な働き方、ワーク・ライフ・バランス等の啓発に努め就職を控える世代に市内企業や地元就職の魅力を発信する。

令和5年度の主な事業成果

※赤字は新規・拡充。

●学生就職支援プロジェクト推進事業

高校生や大学生等に地元企業の情報を知る機会(企業見学会・合同企業説明会、誘致企業ガイドブックの配布)の提供に努め、市内企業に対する理解と関心を深めた。

●人材確保支援事業

人材確保に意欲的な市内事業者を支援することで、当該事業者の事業継続・発展の環境支援が図られたとともに、市内の労働・定住人口の増加につながった。また、市内事業所とのマッチングの支援を通じて、市外在住者の就職につながった。

令和6年度の主な事業

※新規・拡充事業を中心に記載。

●学生就職支援プロジェクト推進事業

●雇用創出のための地域雇用創造協議会を設置

KPI	基準値 (基準年度 =N)	実績値 (N+1年 度)	目標値 (N+5年 度)
高校卒業時の 市内就職率	34.2% (R3)	38.4%	40.0%
大学等卒業時の 市内就職率	12.7% (R3)	11.5%	15.0%
ハローワーク マザーズコーナー 利用者就職率	49.5% (R3)	49.5%	50.0%
ハローワーク 利用者のうち 35歳未満の 若年者就職率	41.1% (R3)	36.6%	45.0%

